



明治大学校友会 市川地域支部会報

まっかぜ

第13号

2017

春(4月)

第12回市川地域支部総会 開催される!

発行：明治大学校友会
千葉県西部支部市川地域支部
〒272-0816 市川市本北方2-30-9
発行人：佐川 清



五月晴れのもと市川地域支部第12回総会が、平成28年5月15日(日)に例年通り山崎製パン企業年金基金会館の大ホール(陽光の間)に於いて、来賓、会員総勢84名参加のもと、総会並びに懇親会が開催されました。

第1部総会では、木川幹事の司会でスタートをし、開会のことばを湯浅幹事が行い、そして佐川支部長の挨拶で多数の会員の参加に対する謝礼と、今後の支部の運営の基本姿勢については「縁」を大切にしたいとの話があり、引続き議事の審議に入り、第1号議案事業報告、第2号議案収支決算報告、監査報告、第3号議案事業計画(案)、第4号議案収支予算(案)、第5号議案役員改選の件が各担当より説明され、審議の結果、全議案につき満場一致で可決承認され、第1部の総会は、阿部副幹事長の閉会のことばで終了いたしました。



第2部の懇親会は暫時休憩の後、板橋幹事の司会により始まり、開会のことばは伊与久幹事が行いました。

来賓のご挨拶として、西部支部行木支部長より市川地域支部設立当初のエピソードをお話頂き、山田顧問からは、今年度開催される全国校友大会の開催地の鳥取の出身で、明治の創立者のお一人である岸本辰夫先生のお話を伺い、そして乾杯の音頭を執って頂き、懇親会はスタートしました。

料理を味わい、酒を酌み交わし、歓談も弾み懇親会も盛り上がり、そして会員同士の絆も深められました。

アトラクションは、市川市出身のトランペット奏者の染谷 始さんとキーボード川村 健さんによる演奏が行われ、ニニロツソメロデーに始まり、蘇州夜曲、川の流れのように等をトランペットの美しい音色に乗って演奏され聞き惚れ、感動いたしました。

最後に阿部監査役、伊与久幹事の指揮の下、校歌を高らかに斉唱し、閉会のことばを登坂幹事が行い次回の再会を誓い、盛会裡に総会は終了いたしました。



平成29年度第13回 明治大学校友会 市川地域支部総会開催について

【日時】 平成29年5月13日(土)
総会 11:00~ 懇親会 12:30~

【場所】 山崎製パン総合クリエイションセンターに於いて
千葉県市川市市川3-23-27 TEL 047-329-3110

※ご案内(平成29年4月吉日)を送付しておりますので、ご参加をお待ちしております。

※ 市川で開催されました第13回西部支部総会については、市川地域支部のホームページでご覧下さい!

第14回 明治大学校友会 千葉県西部支部総会開催のお知らせ

【日時】 平成29年6月18日(日) 13:00~
総会・懇親会

(会場) 船橋グランドホテル に於いて (JR船橋駅北口 徒歩3分)

※詳細は後日、ご案内が送付されますのでご確認下さい。





第5回 親睦と交流の “暑気払い！”

夏の締めくくりのボウリング&生ビールビアパーティー！

平成28年8月27日（土）に、「ボウリング大会&ビアパーティー」が、今年の夏の締めくくりのイベントとして開催されました。



大型の台風10号の影響でどんよりとした曇り空でしたが、ボウリングであせを流し、ビアパーティーで大いに飲み、歓談して楽しい時間を過ごしました。ボウリング大会の優勝者は初参加の宮崎さん、第2位は板橋さん、第3位は紅一点参加の清水さんでした。



第41回 《 いちかわ市民まつり 》 参加レポート



平成28年11月3日（木）、いちかわ市民まつりが開催され、明治大学のPRと会員募集、そして、地域貢献の一貫として明治大学校友会市川地域支部は今年も参加しました。

前日の天気予報では午前中まで雨が残るという予報でしたが、当日は朝から雲一つない気持ちのよい快晴となったなか、オープニングセレモニーに続き、マーチングバンドとバトントワリングの演技や行徳の神輿と木遣などの盛りだくさんのイベントが有り、市民の皆さんも大いに楽しんでいました。



また、今年は法政大学の校友会も参加（たぶん、初参加）されていました。

恒例の “新年の集い”



平成29年2月5日（日）、恒例の明大校友会市川地域支部新年会が本八幡「うえだ別館」で開催されました。

佐川支部長より新年の挨拶があり、本年の支部総会が、昨年までの山崎製パン企業年金基金会館ではなく昨年新たに完成した山崎製パン総合クリエイションセンターにて開催することが伝えられ、開催日も日曜日ではなく、土曜日（平成29年5月13日）と決まりました。

行木名誉支部長からも挨拶を頂き、2年後の校友 全国大会の千葉県東・西支部合同での開催について、みんなで成功させましようとの話がありました。

続いて山田顧問からは、最近の世界の政治、経済状況などのお話から、これからの日本の進むべき道などをお話いただき、乾杯を致しました。

今年の出席者は4名の新入会員を含めて71名となり、和気藹々とした雰囲気の中懇談し、くじ引きとカラオケで盛りあがった後、学部ごとの写真撮影をして、最後は皆で肩を組んでの校歌斉唱とエールで終わりました。



“まっかぜ”に独り言

『オリンピックとわたし』



高梨 政夫 (昭和40年 商学部卒)



2020年の東京オリンピック・パラリンピックもいよいよ3年後になってきて関連する事も盛んになってきた。オリンピックで思い出すのは53年前の前の東京オリンピックだ。大学4年在学中の10月のことだったが、この同じ時期に、オリンピックに参加する国の2カ国から700人を超える仲間が集まり、東京オリンピック世界青少年キャンプ大会が開かれた。

たまたま代表に選ばれ、彼らと1カ月間キャンプ村で合宿生活をしながらオリンピックの試合の応援に行ったり日本の企業や観光地を外国の仲間と訪問し、成長を続ける日本を期間中紹介してまわった。

開村式には現天皇陛下ご夫妻(当時皇太子殿下ご夫妻)をお迎えし、華やかなセレモニーが行われた。期間中にはマラソンで優勝をしたエチオピアのアベベ・ビキラ選手も会場に駆けつけてくれた。

4年後のメキシコオリンピックでも同様のキャンプ大会が確か行われた。幸運にも2回オリンピックをみる機会にめぐり会うことになるが、特に若い方々には是非競技場に足を運んで、自分の目で体験をしてきてほしい。何か得るものが必ずあるだろう。

『ホームで癒され老犬ています！』



滝口 利子 (昭和55年 商学部卒)



皆さんはペットを飼ったことがありますか？たかがペットですが、されどペットです。

現在実家の柴犬が、九十九里にある老犬ホームに入所しています。実家を訪問していたのはせいぜい月に2回くらいでしたが、この柴犬は私に一番なついていました。柴犬が14才になったころから、全く無駄吠えをしなかった犬が夜鳴くようになってしまいました。認知症なのだそうです。獣医から薬をもらったりしたのですが、近所迷惑だというので、遂に老犬ホームに送られてしまいました。うちでは犬を飼うことはできないので、私にはどうにもなりません。老犬ホームには月に2～3回面会に行っており、犬が実家にいたときと同じペースで訪問しています。入所から1年7か月、本当にドッグイヤーというのを実感します。最初のころは私の車が近づくだけで、柴犬は反応していたということですが、今は後ろ脚が弱くなって、会ってもだんだんと私のことを思い出している様子です。行くたびに「長生きしてね」と抱きしめて声を掛けます。

その老犬ホームには40頭以上の老犬がのんびりと生活しています。うちの柴犬は他の犬が嫌いで当初はなかなか友達ができませんでした。他の犬がドッグランに自由に放されていても、うちの柴犬はリード付きでした。ところが、最近は他の犬を嫌うこともなくなり、他の犬と同様にドッグランに放してもらえるようになりました。犬同士仲良くしているというよりは、それぞれマイペースでぼやぼやしているのですが、ホンワカした時間が流れているという感じです。入所当時は、他の犬を可愛がると焼きもちを焼くと可愛そうなので、他の犬には触らないようにしていましたが、この頃はそれもなさそうなので、近づいてくれる犬を可愛がれるようになりました。

他愛のないお話しですが、そんな時間がずっと続くことを願っています。



『平成28年 明治大学全国 校友大会に参加して!』

伊与久 剛史 (昭和42年 文学部卒)



今年度は、創立者岸本先生生誕165周年・明治大学創立135周年と言う記念すべき年に第52回全国大会を「来なんせ、鳥取! 創立者 岸本辰雄先生のふるさとへ」のスローガンのもと11月13(日)開催された。

第1部 記念式典(13時30分から14時50分) とりぎん文化会館梨花ホールで来賓 鳥取県知事・鳥取市長・創立者ご子孫 岸本幸雄(市川市在住)さん3人をお招きし、大学から理事長・学長・常勤理事5名・理事監事7人・評議員会議長・副議長・顧問・理事長付特任補佐・副学長・各学部長8人・連合父母会会長・鳥取県父母会会長・・・(合計32人)

そして、校友会は大韓民国(6)・北海道(2)・青森(8)・岩手(1)・宮城(3)・秋田(10)・山形(4)・福島(19)・茨木(16)・栃木(18)・群馬(9)・埼玉(56)・千葉(63、内市川10)・東京(128)神奈川(81)・山梨(5)・長野(9)・

岐阜(8)・静岡(18)・愛知(13)・三重(4)・滋賀(24)・京都(5)・大阪(13)・兵庫(23)・奈良(4)・和歌山(5)・島根(13)・岡山(24)・広島(45)・山口(5)・徳島(36)・香川(5)・愛媛(33)・高知(10)・福岡(15)・佐賀(1)・長崎(3)・熊本(3)・大分(7)・宮崎(3)・沖縄(14)・鳥取(100)・・・(合計872人)

マンドリン倶楽部OB演奏者スタッフ(合計25)(総勢929人)が参加してオープニング 大会旗入場・国歌斉唱・校歌斉唱・物故校友への黙祷・開会宣言・歓迎の挨拶・来賓紹介・校友会役員紹介・大会会長挨拶そして祝辞(明治大学理事長 柳谷孝)明治大学創立者3名は山形、福井、鳥取県出身の日本海文化で育った粘り強さを学生に植え付けた。野村證券には明治大学卒500有余人いるが中途退社者が一番 少ない大学である。

祝辞(明治大学長 土屋恵一郎)明治大学の学生は与えられる教育ではなくアクティブラーニング自由放任主義の下、自分の意見を発信出来る環境の中、創造力、独自性「個の確立」を育む教育を受けている。

来賓祝辞(知事・市長)我が国の新たなエネルギー開発の要となるメタンハイドレートのコア貯蔵研究施設が明治大学により鳥取港に開設された、また岸本辰雄先生の出生の地であり銅像・顕彰碑を建立、日本初の女性弁護士中田正子さんの出身地でもある。

更に、直近では市川地域支部の顧問で鳥取県出身の山田憲典様(不二家会長、山崎製パン副社長)に地震で落ちた梨を全て買取って頂く等、明治大学は創立以来、鳥取県と深く絆で結ばれた大学であり、今後もともに歩んでいきたいと思っています。

来賓祝辞(父母会会長)・(創立者ご子孫 岸本幸雄)曾祖父 岸本辰雄は鳥取藩の貢進生として東京に出て法律の基礎を身に着けた後パリ大学に留学し、フランス共和制の法律を学んで1880年に帰国した頃は近代国家としての我が国の揺籃期であり、英国の立憲君主制、ドイツの絶対君主制、そして、フランスの共和制を学んだ者たちが我が国の行く末を熱く語った時代でした。その時代に、人が生まれながらに持つ「権利・自由」を掲げて、1881年僅か30歳の若者3人宮城浩蔵先生、矢代操先生、そしてパリ留学時代の先輩である西園寺公望卿など多くの人に支えられて明治法律学校を立ち上げ、「法の支配」という近代普遍の理念の普及に尽力しました。そして多くの有為な人材を輩出し、近代日本の礎を作ることに大いに貢献できたのであれば末裔として大変嬉しく、また誇りに感じています。

次年度全国大会開催県支部長代表挨拶(沖縄県支部長)

祝電披露・万歳三唱・閉会の挨拶が行われた。

引き続き同会場で、**第2部** 記念講演(15時から16時30分) 鳥取県出身・明治大学創立者 岸本辰雄先生を語る」講師 村上 一博(明治大学法学部教授、明治大学博物館館長)・山泉 進(明治大学法学部教授、明治大学史資料センター長)・伊藤 康晴(進行・平成3年文学部卒、鳥取県支部)

岸本辰雄先生の生誕から明治法律学校を作るまでを講演された。

第3部 懇親会(18時から19時30分) 場所を変え(ホテルニューオータニ鳥取)鶴の間・鳳凰の間 二か所に分かれて開催され、盛会に終了した。



参加された市川地域支部の皆さん



**第53回 明治大学 全国校友
沖縄大会** 「めんそ〜れ沖縄 いちやりば兄弟 明治はひとつ」
本土復帰45周年記念

- 【 日 程 】 平成29年11月18日（土）
 - 【 大 会 】 沖縄コンベンションセンター劇場棟
 - 【 懇 親 会 】 ラグナガーデンホテル
 - 【 エクスカーション 】 11月17日（金）18日（土）19日（日）
- ※詳細は、明治大学校友会事務局等へお問い合わせ下さい。



**第55回 明治大学 全国校友 千葉大会の
開催準備状況について**

- 【 開催日 ・ 開催場所 】
- 2019年10月5日（土）・前夜祭（浦安地区にて）
- 2019年10月6日（日）・記念式典・講演会（幕張地区にて）
- ・懇親会（幕張地区にて）

※現時点では、上記通りですが実行委員会にて協議中で変更等の可能性があります。

紫紺の軌跡

『 明大 市川の 校友に望む！ 』

及川 慶治 （昭和30年 政経学部卒）



— 建学の精神 —
権利自由、独立自治

— 使命 —

世界へ — 「個」を強め、世界をつなぎ、未来へ —
知の創造と人材の育成を通し、自由で平和、豊かな社会を実現する



明治大学 校友会市川地域支部として、紳士・淑女を目指す人間性を育成するのが不可欠です。

それが人間の基礎である。当たり前のことであるが、挨拶・約束、他人に迷惑をかけないことを重んじることが大事である。

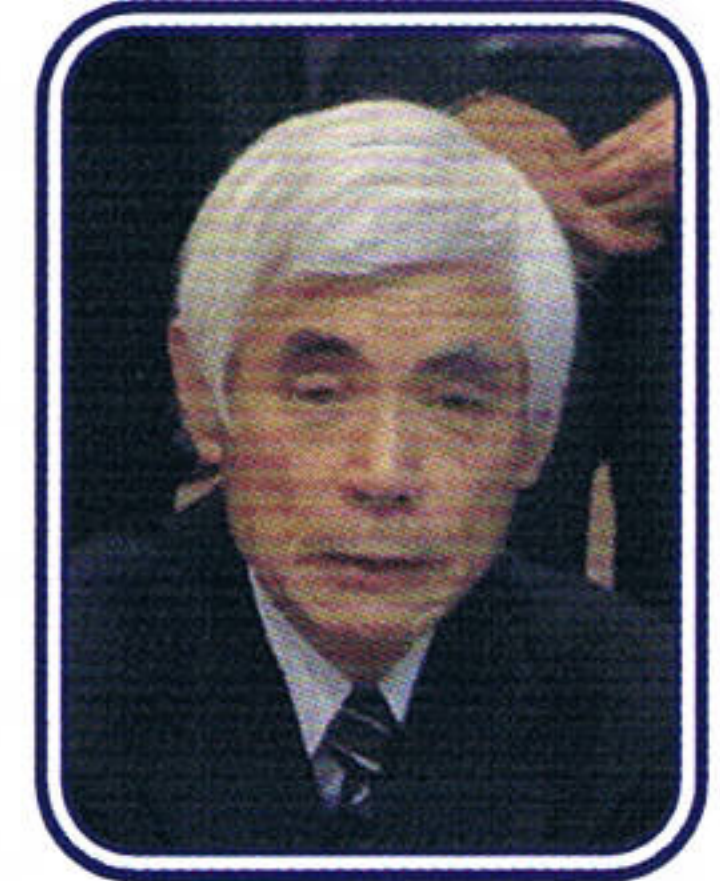
又は、行動力・実行力・協調性のある者はグローバルに活躍できる人だと思います。

紫紺の軌跡



『 明治大学との出会い 』

登坂 一 朗 （昭和45年 政経学部卒）



小生と明治大学との出会いは、高校の倫理・社会の授業で聞いた民法論争（平凡社刊「政治学事典」の同項を参照）でした。明治政府法律顧問ボアソナードが指導したフランス法に基づく民法は、「民法出でて忠孝亡ぶ」を主張するイギリス法学派に敗れました。しかし、権利・自由と独立・自治の文化は岸本辰雄氏等により明治法律学校に受け継がれました。

小生の第二外国語は当然のことながらフランス語でした。フランス語は忘却の彼方ですが、その授業では硬式野球部の徳島商出の広沢氏（有名な広沢氏とは別人）と机を並べる幸運がありました。同氏達の勉学のお手伝いもしましたが、いまでも同氏の「モニク シャント オシ」の真剣な表情での発音を思い出すことができます。

明治大学では良き師に恵まれました。2年遅れて入学をした小生は、授業内容のレベルを問わずすべての講義に欠かさず出席しました。当時のマスコミに取り上げられた講義として、和泉では藤原弘達教授（教養としての政治学）、秋永肇教授（政治学原論）、祖父江孝雄教授（文化人類学）。駿河台では橋川文三助教授（日本政治思想史）、田口富久治教授（行政学）がありました。更に大教室であることを隠れ蓑にして駿河台の他学部の講義にでました。なかでも経営学部の伊東光晴教授（経済学）からは社会科学が日常に果たす役割を学びました。

駿河台では、担任（3年および4年時の毎週の原書購読）は橋川文三助教授で、ゼミは秋永肇教授（元日本政治学会会長）でした。当時の中央公論誌上では橋川助教授と三島由紀夫氏との論争があり、橋川助教授は三島由紀夫から高い評価を受けました。それについて質問すると、日本政治思想史に触れながら丁寧な説明をして頂きました。当時のノートを見ると、小生の未熟な解釈（真の保守主義とは、自己責任と他者意識に基づいたリアリズムにあり）がありました。

ゼミには政治経済学部在籍者の20パーセント前後の人しか許可されませんでした。入室試験があり、小生は幸運にも秋永ゼミの3名の一人に選ばれました。3年生と4年生の12名が週一回地下の小教室で、原書を使用しながら秋永教授から個々に指導を受けました。

最初のゼミでは、秋永教授から明治維新から敗戦を経て現在に至るまでの大衆社会状況（マスコミに躍らされて地域社会の絆を軽視）に触れた話がありました。その際、「一冊だけを選べと言われたらルソーの社会契約論と人間不平等起源論の2冊である」との述懐がありました。本ゼミ（サブ・ゼミに対しての用語）終了後、御茶ノ水駅近くの喫茶店で議論の続きをすることもありました。秋永教授の右手の特徴的な動き（右手を前に出して、肘を体に付けて、掌を相手に向ける）が小生に自然と移った時期もありました。秋永教授の著書「政治学原論」（2年時の講義テキスト）は未だに難解で、本棚の飾りになっています。

サブ・ゼミは週4回（秋永教授の門下生3名による課外授業とゼミ員による午後の勉強会）ありました。その3名の方とは、明治大学大学院博士課程に在籍されている研究者（後の大東文化大学教授）、他大学の講師およびアサヒ・イブニング・ニュース編集局の方でした。小生の手元には南伊豆のゼミ旅行の写真が残っています。秋永教授と酒を飲みながらの指導を受けた思い出が甦ってきます。

当時は学園紛争が盛んな頃であったので、大学の教室を使用できないことが多くありました。サブ・ゼミの場所は、明治大学大学院（封鎖は免れていました）の秋永教授の601研究室、市ヶ谷の私学会館（使用料は秋永教授の門下生が負担）および都内の公民館を使用しました。

当時は、神田をカルチュ・ラタンと叫ぶ学生運動に抗して、駿河台の校舎には催涙ガスが散布されました。目を潤ませながら通った日々の記憶は遥か彼方になりました。

ゼミでは良き友にも恵まれ、卒業後から現在まで絶えることなくヘボ・ゴルフを楽しんでいます。昭和41年、日本武道館での入学式は父と二人で参加しました。これからも明治大学OBとして健全な庶民感覚で、独立自尊と並ぶ権利自由の思想・文化を次世代に伝えていく所存です。

市川地域支部のホームページについて



市川地域支部ではホームページとブログを運営しています！



市川地域支部のホームページとブログでは、市川地域支部総会や千葉県西部支部総会などを始めとして、市民まつりや新年会、ボウリング&ビアパーティなどのイベント、明治大学のスポーツの話題などを掲載しており、会員の皆様とのコミュニケーションを深めるために運営されています。

【ホームページとブログの閲覧方法について】インターネット・エクスプローラなどのウェブブラウザのアドレスバー（現在閲覧中のウェブページのアドレスが表示されている場所）に、下記のURL（閲覧したいホームページなどの宛先アドレスのことです。）を入力してエンターキーを押して下さい。

- 市川地域支部のホームページのURL：
meiji4ichikawa.dip.jp
- 市川地域支部のブログのURL：
shikon4ichikawa.dip.jp

※ こちらのホームページは、明村幹事のご助力により運営されています。



ゴルフ同好会の活動報告



平成28年度 明大市川地域支部ゴルフ同好会活動概要

- 第35回コンペ（平成28年4月22日）
新千葉カントリー倶楽部12名参加
優勝 鶴岡正雄
準優勝 高橋一郎
三位 石川守也
ベスグロ 高橋一郎（85）
- 第36回コンペ（平成28年7月22日）
習志野カントリークラブ12名参加
優勝 佐川 清
準優勝 鈴木宣男
三位 月舘光治
ベスグロ 高橋一郎（97）
- 第37回コンペ（平成28年9月9日）
山田ゴルフ倶楽部 13名参加
優勝 板橋昇二郎
準優勝 中原忠良
三位 土橋敏雄
ベスグロ 高橋一郎（83）
- 第38回コンペ（平成28年12月9日）
立野クラシックゴルフ倶楽部 11名参加
優勝 石川守也
準優勝 野間俊夫
三位 土橋敏雄
ベスグロ 高橋一郎（91）



現在登録メンバー23名ですが、なかなか日程調整が上手くゆかず、平均3組での開催となっており、残念な状況です。

今後、会員各位健康管理に努め、楽しいアウトドア生活を送れる身体づくりに挑戦してもらい、元気な姿で参加されることを期待しています。

29年度年4回開催（4・7・11・月）予定。
引続き、会員増強を図ります。



第37回 山田ゴルフ倶楽部にて（2016.9.9）



カラオケ同好会の活動報告



平成28年度のカラオケ同好会は、4回の例会を開催しました。
例年通り、くじ引きで紅白に分かれ得意の歌で点数を競う対抗戦を行った。



結果は次の通りです。

- ・第40回は参加者16名、11点差で白組勝利。
- ・第41回は参加者14名、4点差で紅組勝利。
- ・第42回は参加者16名、2点差の接戦で白組勝利。
- ・第43回は参加者19名で、忘年会を兼ねた例会で紅白対抗戦でなく、皆さん好きな歌を思う存分歌う形で、今年の歌い納めで大いに盛り上がりました。

本年、体調等の関係で4名が退会、1名入会され22名の会員数となっています。

平成29年度の例会予定日は3月5日、6月4日、9月3日、12月3日の各日曜日の開催予定です。

声を出して歌うことは健康の一助にもなります。歌が好きな皆様の入会をお待ちしております。

カラオケ同好会の皆さん（例会にて）



各同好会では、新規入会者を募集中です！皆様の参加をお待ちしております！



ハイキング同好会の活動報告



ハイキング同好会には自由で謙虚な遊び心があります。明治大学のキャンパスや様々な場所に出かけて、昔話に興じる至福の時間を楽しんでいます。

昨年のハイキング同好会の計画は、雨天のために中止になりました。参考までに同計画は次の通りでした。

「10月1日、東京六大学野球（対法政大戦）の観戦（明大野球部の好意でネット裏の席に参加者24名全員招待）試合観戦後、上野の谷中霊園訪問（明治大学創始者の岸本辰雄氏の墓は第15代将軍徳川慶喜の墓の近くにあり）」。

※ 一昨年までのハイキング同好会では次のようなキャンパス・ツアーを実施しました。

- ・2014年9月20日 参加者16名で中野・駿河台キャンパスを訪問。
- ・2015年9月26日 参加者15名で生田・和泉キャンパスを訪問、駿河台キャンパスにて懇親会。

最先端の機能を備えた建物が並ぶ各キャンパスでは、明治大学のアカデミズムについての丁寧な説明がありました。昨今の世の中では、価値は適正な経過（需要と供給）ではなく欲望と満足感が交わるところで決まります。このような「足るを知ることが少ない」風潮に対して、明治大学が果たす役割を再認識する機会にもなりました。

平成29年10月には、昨年と同様の大学野球応援ツアーを予定しています。「白雲なびく駿河台」が神宮球場に響く時、過ぎし日の若さを思い出しながら明治大学の独立自治の旗に託す新たな感慨が甦ります。

市川地域支部の皆様には計画の詳細が決定しましたら葉書で案内状（8月中旬発信予定）を差し上げます。多くの方の参加をお待ち申し上げます。

これからも明治大学の野球やラグビーの観戦、博物館や美術館の訪問を皆様の要望に応じて実施する予定です。

編集雑記

多忙の中、会員の皆様の寄稿ありがとうございます。“まつかぜ”が発刊されて既に13号となりましたが、もっと内容を盛り込もうと思いつつもなかなか儘ならず、会員の皆様には満足して頂けない無状態です。

幸いにも、市川地域支部のホームページが充実してきており、会報では伝えきれない大学関係及び、支部の情報等がスピーディーに収集出来るツールになっております。今回も会報にアクセス方法等を掲載させて頂きましたので、是非、定期的に支部のホームページを閲覧して頂ければと思います。

引き続き、会報へのご協力をよろしくお願い致します。

m()m (C. A) m()m

